

特定非営利活動法人 海の自然史研究所

志津川湾を学ぼうトランクキット制作による海のレクチャープログラムと展示

実施期間：2024年6月1日（日）～2025年3月31日（火）



【事業の内容・目的】

- ラムサール条約登録湿地となり、国立公園海域公園地区にもなっている志津川湾について、地域内外のより多くの方に理解を深めてもらい、その保全と持続可能な活用(ワイズユース)を自分ごととして認識する企画を行った。
- そのため志津川湾を学ぼうトランクキットを制作し、当施設で行っている月例プログラムおよび地域小学校への出張授業でキットを活用した海の学びレクチャーを行った。
- この取り組みによって、志津川湾のワイズユースが認識され、海洋の基本や海洋環境の変化が理解されて、その対応が自分ごととなることを目指した。

活動の様子

1. 地域小学校への出張授業

【開催日時】2024年11月22日（金）9:30～11:00

2024年12月13日（金）10:30～12:00

【開催場所】南三陸町立伊里前小学校、戸倉小学校・石巻市立北上小学校

【参加者数】6年生18人・5年生13人・4年生17人

【活動内容・目的】

- 志津川湾概要・磯のジオラマトランクキットを使って、志津川湾についての基本の知識を学びました。
- 海について大きく捉えた上で、そこに起こっている環境問題(水温上昇による環境変化・海のゴミ問題)についてレクチャーしました。
- 温暖化による水温上昇で志津川湾の魚種に変化があったり、海のゴミが大変な状態だという環境問題を、トランクキットを使って実感しました。

伊里前小学校

(導入)

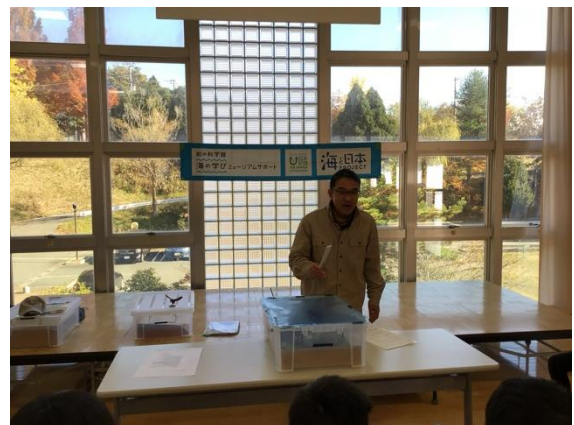


(磯焼けについてレクチャー)

(志津川湾の概要解説)



(ジオラマで磯の解説)



リアス海岸がどういう地形になっているのか、そしてその海の形態の1つである磯がどうい
うものかをトランクキットを使って学びました。そこで起こっている海の変化、磯焼けや
海のゴミなどの環境問題の現実を知り、対処を考えるきっかけを作りました。

北上小学校

(志津川湾概要トランクキット解説中)



(温暖化トランクキット解説中)

(磯のジオラマトランクキット解説中)



(海のゴミトランクキット解説中)



宿泊学習で訪れた志津川湾についての概要を知り、また一緒に磯観察をしたその場所がどういうところか俯瞰しました。そこで起こっている海の環境問題、水温上昇での魚種変化、海のゴミなどの現実を知り、対処を考えるきっかけを作りました。

戸倉小学校

(志津川湾概要トランクキット解説中)



身近なリアス地形の志津川湾の概要を知り、ここで生息するコクガンをはじめとした水鳥たちの生態に興味を持って、生物多様性についてゲームを通して探究しました。

【参加者の声】

- ・海に起こっている問題を知りました。
- ・なんとかしていけないといけないと思いました。
- ・ジオラマとか見せてもらって、磯やリアス地形のイメージがつかえました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

2. Mr.ピースと海を学ぶ日 vol1

【開催日時】2024年11月24日(日) 13:45 ~ 15:30

【開催場所】南三陸・海のビジターセンターレクチャールーム

【参加者数】15人

【活動内容・目的】

- 志津川湾概要・磯のジオラマトランクキットを使って、志津川湾についての基本の知識を学びました。
- 海について大きく捉えた上で、そこに起こっている環境問題(水温上昇による環境変化・海のゴミ問題)についてレクチャーしました。

(温暖化トランクキット)



(磯のジオラマ解説中)



(子どもたちがトランクキットにハンズオン)



(海のお話し-サンゴの白化)



リアス海岸がどういう地形になっているのか、そしてその海の形態の1つである磯がどういふものかをトランクキットを使って学びました。その上で「海のお話し」として、海の基礎知識とともに、起こっている海の変化、サンゴの白化、磯焼けや海のゴミなどの環境問題の現実を知り、どうしていけばいいのか一緒に考えましょうと投げかけました。

【参加者の声】

- ・感動しました。
- ・ちょっと疲れた。
- ・ジオラマ、おもしろーい。

3. Mr.ピースと海を学ぶ日 vol2

【開催日時】2024年12月14日(土) 10:00 ~ 11:30

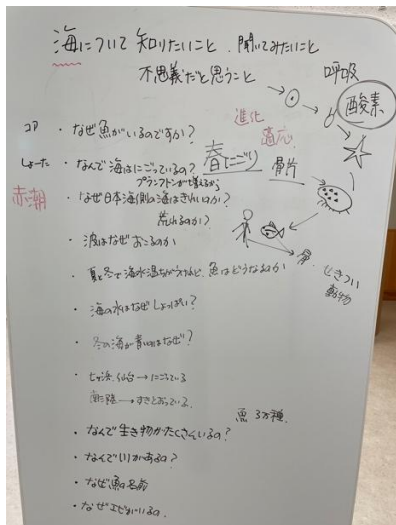
【開催場所】南三陸・海のビジターセンターレクチャールーム

【参加者数】7人

【活動内容・目的】

- 温暖化トランクキットを使って、志津川湾にどのような環境変化が起こっているのかを学びました。
- 海について知りたいことを挙げてもらい、これまでの学習と絡めながら答える進形で学びました。

(海について知りたいこと)



(導入セッション)



(温暖化トランクキット説明)



(標本を手にとって)



海について知りたいことを挙げてもらい、それに答える形で海の基礎知識を学びました。水温の上昇という項目から、その背景である温暖化、黒潮の大蛇行による海流の変化、そして生き物たちへの影響などを、実際に志津川湾で採取された魚介類の標本を見ながら伝えました。

【参加者の声】

- ・楽しかった。
- ・海に環境変化が起こっていることを実感しました。

4. Mr.ピースと海を学ぶ日 vol3

【開催日時】2025年2月2日(日) 10:00 ~ 11:30

【開催場所】南三陸・海のビジターセンターレクチャールーム

【参加者数】11人

【活動内容・目的】

- 海の営み(養殖)開設トランクキットを使って、志津川湾で養殖漁業がどのような作業をしているのかを学びました。
- 漁師さんたちの大変な作業があって、美味しい海産物が私たちの食卓に上がることを学びました。

(ホタテのぬいぐるみで導入)



(どんな養殖が志津川湾でされているのか解説)



(養殖トランクキット作業パーツを確保)



(養殖作業を動画で知る)



志津川湾でどのような海産物が養殖されているのか、それぞれの作業はどのようなものなのか、漁師さんたちの仕事を知りました。彼らの大変な作業によって私たちは美味しい海産物、海からの恵みを得られていることを学ぶとともに、そういう海だから大事にしないといけないという意識を育みました。

【参加者の声】

- ・養殖がどのような仕事なのかわかりました。
- ・海の恵み、大事に食べないといけないと思いました。

【事業全体のまとめ】

トランクキットを5種類(志津川湾概要・磯のジオラマ・温暖化・海洋ゴミ・海の営み)作成し、これを活用することで海に関することをよりリアルに感じることができるようになった。

キットを活用したレクチャーにあたり、講談を参考にしたシナリオを作って実施することで、興味深く受講してもらえたと思う。

活動個別には、まず南三陸町内の小学校児童たちは、地元の海ということで日頃から志津川湾について学ぶ機会も多く、また家族に湾内で操業する漁業者もいることなどから、海の賢い利用の仕方を子どもなりに自分ごととして捉えている印象があった。

北上小学校児童たちは、特別活動として宿泊学習で南三陸町を訪れ、志津川湾に接していることから違和感なく授業を受け止めていた。志津川湾が地元の海ではないが、同様に追波湾・十三浜という海があることから、それに当てはめて考えてくれている印象があった。

海を学ぶ日に参加くださった方々は、海の変化情報などしっかりと受け止めてくださり、やはりワイズユースの意識を持ってくださったように感じる。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 南三陸町自然環境活用センター	地球温暖化トランクキット標本貸与
2.	
3.	
4.	
5.	

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 南三陸・海のビジターセンターFacebook	2024/11/25 12/6 12/14 2025/2/2
2. 海の自然史研究所 Facebook	2025/2/1
3. 海の自然史研究所 website(Facebookリンク)	2024/11/25 12/6 12/14 2025/2/2
4.	
5.	

以上